

一般社団法人日本医学会連合
臨床内科部会 加盟学会 会員各位

一般社団法人日本医学会連合
会長 門脇 孝

地域医療の向上と研究力の向上に関する意識調査

わが国の医学及び医療の水準の向上に寄与することを目指す日本医学会連合は、国全体として地域医療の向上と医学研究力の向上の両方を追究する立場にあります。昨今の地域医療や研究力の課題に関して、臨床医師を中心として忌憚のないご意見を伺い、国への提言、要望等につなげていきたいと考えています。

本調査の目的を把握していただくため、以下の経緯についてご一読ください。

日本医学会連合は、2023 年 12 月に、都市の研修医定員や専攻医定員のシーリングの導入を地域偏在問題に絡めることで、専攻医から適切な教育の機会を奪うことがないよう要望しました (https://www.jmsf.or.jp/activity/page_854.html)。若手医師は充実した指導体制で教育を受けるべきであり、地域偏在問題や診療科偏在の解決を専ら研修中の若手医師たちの配置によって解決するべきではなく、若手医師の教育体制の充実と医師の地域偏在、診療科偏在の課題を共に解決すべきとの主張です。

現在、厚生労働省において、医師偏在是正対策について、医師少数区域での勤務経験を求める管理者要件の大幅な拡大等の規制的手法等が検討されています。この対策案が与える影響について、日本医学会連合では意見書 (https://www.jmsf.or.jp/activity/page_696.html) を提出しました。厚生労働省は 2024 年末までに医師偏在是正対策の方針を決める予定です。

そこで、日本医学会連合は地域医療の向上と研究力向上に関して、皆様の生の声やアイデアを伝えるためにアンケート調査を実施することといたしました。つきましては、自由記載の項目にはできるだけご記入をお願いいたします。また、所属されている複数の学会から本連絡があるかと存じますが、アンケートへの回答は1回のみでお願いいたします。

なお、いただいたご意見は、集計のうえ今後の検討および要望書の作成に活用させていただきます。個人が特定されることはありません。集計した資料は日本医学会連合ホームページ等で公開する予定です。

【回答方法】下記 URL よりご回答ください。

回答先 <https://jp.research.net/r/WYWFPYX>

回答期限 2024 年12月9日（月曜日） 所要時間 15分程度

ご多用のところ恐れ入りますが、アンケート調査にご協力をお願い申し上げます。

<本件に関する問合せ先>

一般社団法人日本医学会連合事務局

Email : info@jmsf.or.jp

<設問>

1. あなたのキャリアプランをどのように考えていますか。当てはまるものを選んでください。(複数選択可)

- 1) 高度医療の現場で専門医療に従事したい／従事している
- 2) 一般の医療機関で専門医療に従事したい／従事している
- 3) 地域の医療機関で地域医療に従事したい／従事している
- 4) 研究に従事したい（医療を行いながら、同時に研究を行うことを含む）／従事している
- 5) 開業を含めクリニックで医療に従事したい／従事している
- 6) 事業（開業以外・ビジネス）をしたい／している
- 7) 行政で働きたい／働いている
- 8) その他（自由記載）

枝分かれ

1) と回答した方

高度医療に従事していくために重要なことはありますか。主なものを選んでください（複数選択可）

- a. 高度な医療を必要とする症例を多く診ることができる
- b. 救命救急の症例を多く診ることができる
- c. 高度な手術症例を経験できる
- d. 高額医療機器を用いた診断ができる
- e. 優れた臨床・研究の指導者がいる
- f. ライフワークバランスがとれる
- g. 安定した収入がある
- h. 安定した生活環境（住居、子育て、子の教育、介護支援等）がある
- i. その他（自由記載）

2) と回答した方

一般の医療機関に従事していくために重要なことはありますか。主なものを選んでください（複数選択可）

- a. 専門領域から、幅広い症例まで診ることができる
- b. 二次相当の救急医療ができる
- c. 専門領域から、幅広い症例まで手術を経験できる
- d. 優れた臨床指導者がいる
- e. ライフワークバランスがとれる
- f. 安定した収入がある
- g. 安定した生活環境（住居、子育て、子の教育、介護支援等）がある
- h. その他（自由記載）

3) と回答した方

地域医療に従事していくために重要なことはありますか。主なものを選んでください（複数選択可）

- a. 一般的な症例を多く診ることができる
- b. 救急の症例を多く診ることができる
- c. 手術を多く経験できる
- d. 必要な指導が受けられる
- e. ライフワークバランスがとれる
- f. 安定した収入がある
- g. 安定した生活環境（住居、子育て、子の教育、介護支援等）がある
- h. その他（自由記載）

4) と回答した方

研究に従事していくために重要なことはありますか。主なものを選んでください（複数選択可）

- a. 研究時間が多くとれる環境がある
- b. 研究費をとりやすい環境がある
- c. 優れた研究指導者がいる
- d. 診療も続けることができる
- e. ライフワークバランスがとれる
- f. 安定した収入がある
- g. 生活環境（住居、子育て、子の教育、介護支援等）がある
- h. その他（自由記載）

2. 厚生労働省は医師偏在是正対策の一つとして、すでに 2020 年度以降に臨床研修を開始した医師を対象として、全国およそ 700 ある地域医療支援病院で院長などの管理者になるための要件として、医師が少ない地域での勤務経験が半年以上あることを要件としています。さらに最近になって、公立病院を含む公的医療機関や国立病院機構が運営する病院など、およそ 1600 の病院に拡大し、勤務期間を 1 年以上に延長する方針が提案されています。

2-1 このような医師偏在対策について、あなたはどのように思いますか。当てはまる主なものを選んでください（複数選択可）

- 1) 管理者の資質として医師が少ない地域での勤務経験が必要である
- 2) 医師の地域偏在を軽減するためには規制的な措置も必要である
- 3) さらに多くの医療機関を対象とすべきである
- 4) 若手医師を対象としたこのような規制的な措置は望ましい
- 5) 全世代の医師を対象とした地域偏在対策が望ましい
- 6) このような規制的な方法は医師が少ない地域での勤務に対して、負のイメージを与えかねない
- 7) 病院管理者に関心が低いいため、管理者要件を拡大する対策では効果が少ないのではないか

- 8) 専門医資格更新のインセンティブであれば効果があるのではないか
- 9) 税制優遇等のインセンティブがあれば効果があるのではないか
- 10) 医師偏在対策として、初期臨床研修後に自由診療の分野に進む人材に対して、何らかの対策が必要である
- 11) その他（自由記載）

2-2 医師が少ない地域での勤務について、あなた自身の考え、あなた自身が対象者となった場合に当てはまる主なものを選んでください（複数選択可）

- 1) 医師が少ない地域で勤務したいと考えている
- 2) 充実した研修ができるのであれば医師が少ない地域での研修もよいのではないか
- 3) 医師が少ない地域での勤務経験は、臨床力を高めることができる
- 4) 従事期間を6か月以上から延長するならば、現場の実態を踏まえて、断続的な勤務の積算も考慮すべきである
- 5) 主に高度医療の現場での専門医療に興味がある
- 6) 主に一般の医療機関での専門医療に興味がある
- 7) 研究が一時的に中断される
- 8) 医師が少ない地域における研修の質を向上するための指導者が必要である
- 9) 医師が少ない地域における研修の質を向上するための経済的支援が必要である
- 10) ライフワークバランスがとれることが必要である
- 11) 安定した収入が必要である
- 12) 生活環境（住居、子育て、子の教育、介護支援等）が必要である
- 13) その他（自由記載）

3. もう一つの医師偏在対策として、中堅・シニア医師等と医師が少ない地域の医療機関との全国的なマッチング機能支援等が挙げられ、中堅以降の医師等の総合的な診療能力等に係るリカレント教育の推進が検討されています。

3-1 リカレント教育について、あなたはどのように思いますか。当てはまる主なものを選んでください（複数選択可）

- 1) リカレント教育に関心があり、受講したい
- 2) リカレント教育に関心があるが、時間の確保が難しい
- 3) 時間確保ができる体制整備がなされるならば受講したい
- 4) 教育内容が充実していれば受講したい
- 5) リカレント教育に際する経済的な負担が配慮されるならば、受講したい
- 6) 現役で多くの症例を経験しているため、リカレント教育は必要ない場合もあることを考慮してほしい
- 7) リカレント教育に関心がない
- 8) その他（自由記載）

3-2 中堅以降の医師が医師の少ない地域で勤務する際、ハードルとなること等がありますか（自由記載）

4. 研究時間についてお伺いします。

4-1 あなたは研究に従事する時間が確保できていますか？

- 1) はい 2) いいえ

4-2 研究時間について、あなた個人としてどう思われますか

- 1) 増やしたい
2) 現状のままでよい
3) 減らしたい
4) いずれとも言えない

5. 日本の医学研究力の低下が指摘されていますが、あなたはこの問題に関してどう思われますか。当てはまる主なものを選んでください（複数選択可）

- 1) 医学研究に従事できる時間を増やすべきである
2) 医学研究に従事する人を増やすべきである
3) 医学研究を支援する人を増やすべきである
4) 医学研究に従事する時間は現状のままでよい
5) 医学研究に従事する人は現状のままでよい
6) 医学研究を支援する人は現状のままでよい
7) 専門医取得や更新要件に、臨床のみならず研究も単位として認めるようにする
8) 専門医制度において、研究のために臨床を離れる際、無期限もしくは期限を延長できるカリキュラム制を導入する
9) 大学院進学が増えるよう、大学院生に給与保障をする
10) 文部科学省科学研究費等の自由な発想での研究申請の採択数、金額、充足率（申請額に対する申請額の割合）を増やす
11) いずれとも言えない
12) その他（自由記載）

6. 海外留学についてお伺いします。

6-1 海外留学経験はありますか。

- 1) 経験あり（現在留学中も含む） 2) 経験なし

経験なしと回答した方）

6-2 留学の希望はありますか

- 1) 希望はある
2) 希望はどちらかと言えはある
3) 希望はどちらかと言えない
4) 希望はない
5) 現時点ではわからない
6) その他（自由記載）

6-3 上記設問（6-2）の回答理由を記入してください（自由記載）

7. キャリア形成に関して困っていること、提案、医学会連合に取り組んでほしいことなどがあれば記入してください（自由記載）

8. 以下は、卒後年数、診療領域、医療機関、年齢、性別、世帯構成についての質問です。調査の結果の解釈にとって重要な情報となりますので、最後までお答えください。

8-1. 卒後年数

プルダウンで選択

- ①1 年目
- ②2 年目
- ③3 年目
- ④4 年目
- ⑤5 年目
- ⑥6 年目
- ⑦7 年目
- ⑧8 年目
- ⑨9 年目
- ⑩10 年以上

8-2 主な基本領域（一つ選択）

プルダウンで選択

【基本領域(19 領域)】

- | | |
|----------|---------------|
| 1 内科 | 12 放射線科 |
| 2 小児科 | 13 麻酔科 |
| 3 皮膚科 | 14 病理 |
| 4 精神科 | 15 臨床検査 |
| 5 外科 | 16 救急科 |
| 6 整形外科 | 17 形成外科 |
| 7 産婦人科 | 18 リハビリテーション科 |
| 8 眼科 | 19 総合診療 |
| 9 耳鼻咽喉科 | 20 未取得（臨床研修医） |
| 10 泌尿器科 | 21 その他（自由記載） |
| 11 脳神経外科 | |

8-3 主なサブスペシャリティ領域（一つ選択）

プルダウンで選択

【サブスペシャリティ領域 (24 領域)】

※令和 4 年 4 月 1 日現在の認定領域

- | | |
|---------|---------------|
| 1 消化器内科 | 5 内分泌代謝・糖尿病内科 |
| 2 循環器内科 | 6 脳神経内科 |
| 3 呼吸器内科 | 7 腎臓内科 |
| 4 血液内科 | 8 膠原病・リウマチ内科 |

- 9 消化器外科
- 10 呼吸器外科
- 11 心臓血管外科
- 12 小児外科
- 13 乳腺外科
- 14 放射線診断
- 15 放射線治療
- 16 アレルギー
- 17 感染症

- 18 老年科
- 19 腫瘍内科
- 20 内分泌外科
- 21 肝臓内科
- 22 消化器内視鏡
- 23 内分泌代謝内科
- 24 糖尿病内科
- 25 未取得
- 26 その他（自由記載）

8-4. 現在の勤務(研修)先の所在地

8-4-1 以下から選んでください。

プルダウンで選択

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1 北海道 | 17 石川県 | 33 岡山県 |
| 2 青森県 | 18 福井県 | 34 広島県 |
| 3 岩手県 | 19 山梨県 | 35 山口県 |
| 4 宮城県 | 20 長野県 | 36 徳島県 |
| 5 秋田県 | 21 岐阜県 | 37 香川県 |
| 6 山形県 | 22 静岡県 | 38 愛媛県 |
| 7 福島県 | 23 愛知県 | 39 高知県 |
| 8 茨城県 | 24 三重県 | 40 福岡県 |
| 9 栃木県 | 25 滋賀県 | 41 佐賀県 |
| 10 群馬県 | 26 京都府 | 42 長崎県 |
| 11 埼玉県 | 27 大阪府 | 43 熊本県 |
| 12 千葉県 | 28 兵庫県 | 44 大分県 |
| 13 東京都 | 29 奈良県 | 45 宮崎県 |
| 14 神奈川県 | 30 和歌山県 | 46 鹿児島県 |
| 15 新潟県 | 31 鳥取県 | 47 沖縄県 |
| 16 富山県 | 32 島根県 | 48 海外 |

8-4-2 勤務先は、都道府県庁所在地ですか。

プルダウンで選択

- ① はい
- ② いいえ（海外を含む）

8-4-3 勤務先の市町村の人口はどのくらいですか。

プルダウンで選択

- ① 1万人未満
- ② 1万～10万人未満

- ③ 10 万～50 万人未満
- ④ 50 万～100 万人未満
- ⑤ 100 万人以上

8－5 現在勤務している主な医療機関（一つ選択）

プルダウンで選択

- ① 大学病院
- ② 国・公的病院（国立高度専門医療研究センター、国立病院機構、日本赤十字社、済生会等）
- ③ 公立病院（市立、県立等）
- ④ 社会保険関係病院
- ⑤ 医療法人病院（20 床以上）
- ⑥ 医療法人診療所（20 床未満）
- ⑦ 診療所（20 床未満）
- ⑧ その他（自由記載）

8－6 研修終了以降後から現在まで経験した勤務機関（複数選択可）

- ① 大学病院
- ② 国・公的病院（国立高度専門医療研究センター、国立病院機構、日本赤十字社、済生会等）
- ③ 公立病院（市立、県立等）
- ④ 社会保険関係病院
- ⑤ 医療法人病院（20 床以上）
- ⑥ 医療法人診療所（20 床未満）
- ⑦ 診療所（20 床未満）
- ⑧ その他（自由記載）

8－7 現在の職位（複数選択可）

- ① 研修医
- ② 専攻医
- ③ 大学院生
- ④ 大学病院の医師（非常勤）
- ⑤ 大学病院の医師（常勤）
- ⑥ 大学の教員（常勤）
- ⑦ 一般病院の勤務医（20～200 床未満）
- ⑧ 一般病院の勤務医（200～500 床）
- ⑨ 一般病院の勤務医（500 床以上）
- ⑩ 診療所の所長（20 床未満）
- ⑪ 診療所の医師（20 床未満）
- ⑫ その他

8-8 博士の学位

プルダウンで選択

- ① 大学院に在籍
- ② 学位取得済
- ③ 将来大学院の希望あり
- ④ 大学院の希望なし

8-9

これまでに受けた指導に対する満足度（研修場所によって異なる場合でも全体としての満足度を選んでください）

プルダウンで選択

- ① 非常に満足
- ② 満足
- ③ 不満足
- ④ 非常に不満足

8-10 年齢

プルダウンで選択

- ① 30 歳未満
- ② 30～34 歳
- ③ 35～39 歳
- ④ 40～49 歳
- ⑤ 50～59 歳
- ⑥ 60～69 歳
- ⑦ 70 歳以上

8-11 性別

プルダウンで選択

- ① 男性
- ② 女性
- ③ 回答を控える

8-12 世帯構成

プルダウンで選択

- ① 1人世帯（自分のみ）
- ② 2人以上の世帯（子どもを含まない）
- ③ 2人以上の世帯（子どもを含む）

9. その他、ご意見等ございましたらお聞かせください。（自由記載）

これで質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。